

| Color Calibration Target | Color Calibration Target | Color Calibration Target |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ホワイト | N-90 | N-93 |
| 19-90A | 22-90B | 15-90A |

| 工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量(kg/㎡/回) | 希釈剤 | 希釈率 (%) | 塗装方法 |
|------|---|------|-------------|-----|---------|---------|
| 下地調整 | 被塗面のごみ・ほこり・やにやしみを除き清浄な面とする。やにの著しい部分は、事前に、濡らしたウエスなどで拭き取り、十分に乾燥させる。 | | | | | |
| 上塗り | ニッペ シールマットⅡ | 1 | 0.15～0.18 | 水道水 | 5～15 | エアレスプレー |

| 試験項目 | 規 格 | 結 果 |
|----------|---|-----|
| 容器の中での状態 | かき混ぜたとき、堅いかたまりがなく一様になること | 合 格 |
| 塗装作業性 | エアレス塗装時にチップ詰まりがなく、パターンむらがないこと | 合 格 |
| 乾燥時間 | 2時間以内(23℃)4時間以内(5℃)であること | 合 格 |
| 塗膜の外観 | 見本品に比べて色の差異が少なく、異物などがなく一様な色相になること | 合 格 |
| 刺激性 | エアレス塗装直後に刺激臭気がないこと | 合 格 |
| 臭気 | 従来のエマルションペイントと比べて極めて少ないこと | 合 格 |
| 環境性能 | 日本塗料工業会の室内建築用塗料の目標基準、厚生労働省の13物質と鉛を配合しない | 合 格 |

1. シールマントIIは「施工要領書」を必ずお読みください。

2. 窓などの開口部近辺の天井は、斜角により仕上がりに精度が非常に厳しく求められます。
入念な下地処理やシーラーでの吸い込み止めなどの処理を行なってから塗装してください。

3. 規定の使用量を超えて過剰に塗る場合は、ホウ酸が発生したり、乾燥後にひび割れが生じたりするおそれがあります。

4. 著しい油汚れには塗膜に割れが生じたり、付着しないおそれがあります。

5. 天井用途以外には使用しないでください。また再塗替える場合には本品をご使用下さい。
一般の塗料を使用すると、はく離する場合がありますので、施工前に密着をご確認ください。

6. 塗装後の乾燥塗膜はプラウで塗らしたウエス、指などで強くすると剥れます。
またテープなどを貼ると塗膜表面からはく離しますのでご注意ください。

7. 新しく張り替えた天井板は、色相や吸い込み差が異なるため、旧天井板と仕上がりが差が生じます。
旧天井板とEP塗料間で色相を合わせたり、目立たない場所への差し替えなどの工夫をしてください。

8. 繊維維、耐火被覆用ケイ酸板、ロックウールなどの非常に脆弱な素材には塗装できません。

9. 防露・防かび・結露は、薬劑を抑制するもので、既に薬劑している場合は、下地処理にて除去および殺菌処理が必要と塗膜にては、塗料の劣化が發生するよう用途、場所での使用は避けてください。殺菌処理が發生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。
新しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。

11. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シーナーなどの溶剤では拭き取、せっけん水で洗浄してください。

12. スプレーの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および設備汚染の原因になります。

13. 低VOCのため、水点下で貯蔵すると凍ります。凍らないよう5℃以下で貯蔵、保管してください。

14. 塗膜に割れが生じるとおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。

15. 上塗り仕上げを塗りたい場合は、種類によりはく離が必要な場合がありますので、試し塗りをしてから施工してください。

16. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。

17. やがて塗り付着している場合は、ウエスなどにより水洗いし（除去し）被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。
希釈を少なくし、1回の塗装量は乾燥（目安23℃、6時間）させてから2回目の塗装をすることで上めが向上します。
また、上面は上塗りし、場合によっては、ウエスなどで水洗いを行い、被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。

18. 下地にバリコやマニキュアを塗りたい場合は、下塗り材として水性「3止めシーラー」を塗装してください。

19. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。

20. 塗装時および塗装後の密閉するまで乾燥が通れますので、換気を十分に行ってください。

21. 塗装時および塗料の取り出し時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。

22. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。

23. 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりに不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。

24. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合もあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。

25. 使用前および保管が均等になるようにはかき出し、開封後は一度に使い切ってください。
やむを得ず保管する場合は密閉してから冷蔵庫で保存し、速やかに使い切ってください。

26. シールマントIIを施工した後は施主の許可を得て、缶のシールに記入のうえ、壁面などの目立たないところに貼ってください。



27. 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3. 粉じん / ガス / 蒸気 / スプレー等を吸入しないでください。
4. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
5. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
6. 適切な保護手袋 / 防毒マスクまたは防じんマスク / 保護眼鏡 / 保護面 / 保護衣を着用してください。
7. 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
8. 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
9. 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
10. 眼の刺激が続く場合は、医師の診断 / 手当てを受けてください。
11. 取扱い後は、手を洗ってください。
12. 防じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
13. 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
14. 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
15. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
16. 施設にて子供の手の届かないところに保管してください。
17. 直射日光や水濡れは厳禁です。
18. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。
19. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
20. 内容物 / 容器を廃棄する時には、国 / 地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
21. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
22. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのままだけや排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※ 上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

※ 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

※ 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

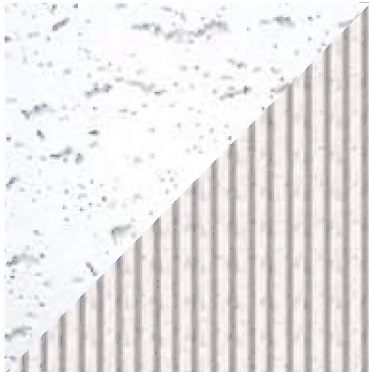
| 危 険 | 危険有害性情報 |
|---|--|
|   | <p>強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/発がんのおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水性生物に有害(急性)/長期的影響により水性生物に有害</p> |

「カタログNo.」
NP-Q027
NB120504T
2012年5月現在

2012年5月現在



写真はイメージであり、商品とは無関係です。



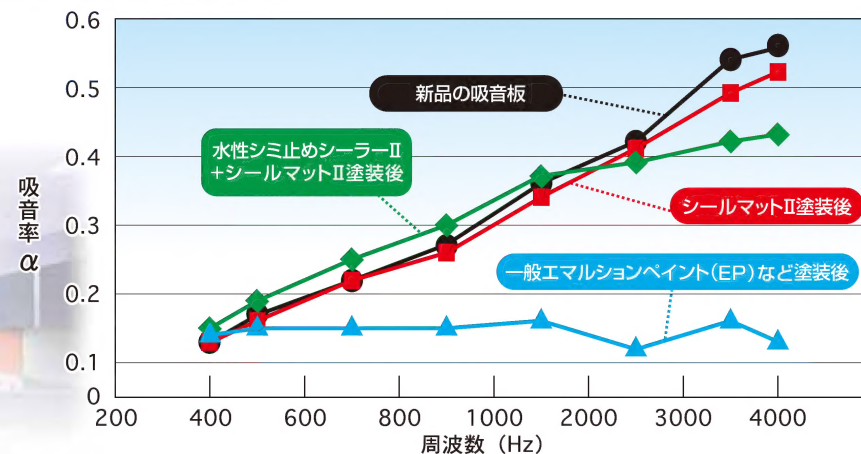
とりもどせ！ きれいな空気と健全な室内環境。 “原状回復”＋環境対策！

塗るだけで
超高機能天井に早がわり！

- 1 吸音ボードの吸音効果を落としません。
- 2 室内の照度アップに寄与します。
- 3 ホルムアルデヒドをはじめとするアルデヒド類を吸着し、再飛散させません。
- 4 防かび、抗菌でアレルゲン物質の増加を防ぎます。
- 5 軽量の塗膜のため、天井材などの塗り替えに最適です。
- 6 吹付けの為、凹凸が有る吸音ボードの塗り替えに最適です。
- 7 超低臭で塗装時から臭気がほとんどありません。
- 8 F☆☆☆☆のホルムアルデヒド放散等級で制限無く使用できます。
- 9 厚生労働省の規制13物質(アルデヒド類、トルエン、キシレンなど)を配合していません。
- 10 鉛、クロムなどの有害な重金属を配合していません。
- 11 アスベストを含有していません。
- 12 超低TVOC:0.1%以下です。
- 13 珪藻土配合です。

塗装後も吸音効果を維持

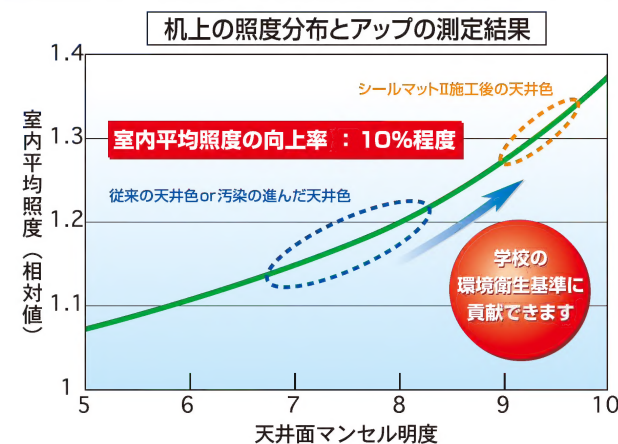
従来の塗装では吸音効果を低下させますが、シールマットIIは吸音用の穴をつぶさないで吸音効果を損ないません。



室内の照度アップに寄与

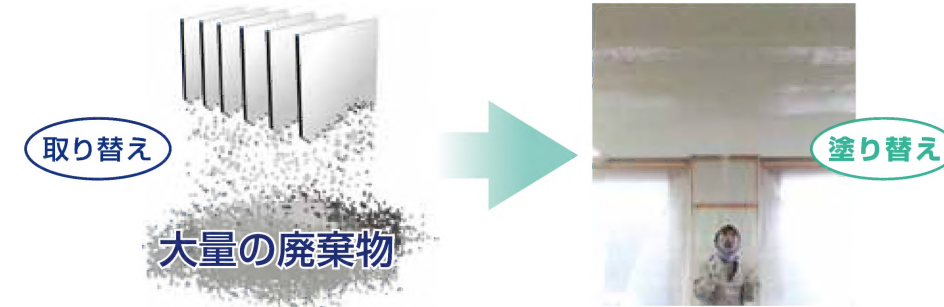


※写真はイメージです。



コスト削減

“取り替え”よりも“塗り替え”がコストを確実に削減します！

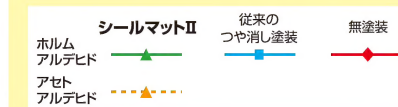


シールマットIIを使用した“塗り替え”はボードの取り替えと比較して、廃棄物処理費用などを大幅に削減することができます。

F☆☆☆☆(ホルムアルデヒド対策)以上の環境配慮

ホルムアルデヒド/アセトアルデヒド吸着

合板や壁紙から出るホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物を吸着する事により、シックオフィスやシックスクール問題などの室内環境問題改善に貢献できます。



測定方法:
7cm×7cm大の塗装板をデドラーバックに入れ開口部を熱シールし、その中に窒素で希釈した20ppm濃度のアルデヒドガスを注入。1時間ごとの残存濃度をガスクロマトグラフィー測定装置で測定。

日本塗料工業会の健康リスクに関する目標基準(室内塗料)

| 設計条件 | 目標値 | シールマットII |
|--------------|---------|----------|
| TVOC | 1%以下 | 0.1%以下 |
| 芳香族系溶剤 | 0.1%以下 | 配合せず※ |
| アルデヒド類 | 0.01%以下 | 配合せず※ |
| 重金属(鉛、クロムなど) | 0.05%以下 | 配合せず※ |

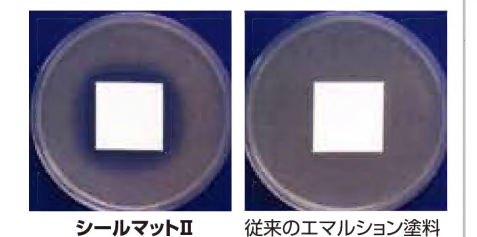
※ただし不純物質として極微量検出される可能性があります。

厚生労働省が指針値を出している揮発性有機化合物を配合していません

| 対象化学物質 | 室内濃度指針値 (値は25℃での換算) | シールマットII※ |
|-----------------|---|-----------|
| ホルムアルデヒド | 100 μ g/m ³ (0.08ppm) | 配合せず |
| トルエン | 260 μ g/m ³ (0.07ppm) | 配合せず |
| キシレン | 870 μ g/m ³ (0.20ppm) | 配合せず |
| パラジクロロベンゼン | 240 μ g/m ³ (0.04ppm) | 配合せず |
| エチルベンゼン | 3800 μ g/m ³ (0.88ppm) | 配合せず |
| スチレン(モノマー) | 220 μ g/m ³ (0.05ppm) | 配合せず |
| フタル酸ジ-n-ブチル | 220 μ g/m ³ (0.02ppm) | 配合せず |
| クロルピリホス | 1 μ g/m ³ (0.07ppb)成人 0.1 μ g/m ³ (0.007ppb)子供 | 配合せず |
| テトラデカン | 330 μ g/m ³ (0.04ppm) | 配合せず |
| フタル酸ジ-2-エチルヘキシル | 120 μ g/m ³ (7.6ppb) | 配合せず |
| ダイアジノン | 0.29 μ g/m ³ (0.02ppb) | 配合せず |
| アセトアルデヒド | 48 μ g/m ³ (0.03ppm) | 配合せず |
| フェノブカルブ | 33 μ g/m ³ (3.8ppb) | 配合せず |

ppm:100万分の1 ppb:10億分の1 μ g=1/1,000,000g

抗菌機能



防かび機能

様々なかびが発生しにくい環境をつくれます。

